

与信限度額算出機能追加のお知らせ

2025年7月18日



AGS株式会社





与信管理サービス「NeuroWatcher」
開発者 丹生露 魚茶

日頃より与信管理サービス「NeuroWatcher」をご利用いただき、誠にありがとうございます。

この度、**NeuroWatcherをバージョンアップし、新しい与信限度額算出機能を追加**いたしました。

本機能追加により、取引先の財務状況や自社のリスク許容度に応じて、**より柔軟で戦略的な与信管理が実現可能**になります。

なお、本機能利用による**追加料金は発生いたしません**。

皆様の与信政策を最適化するお役に立てましたら幸いです。

与信限度額算出機能が、増えました！

与信管理ファイルの画面でご利用いただける、与信限度額（※取引先に設定する債務上限額）の算出機能を6種類追加いたしました。

Before画面イメージ

1種類の与信限度額を算出可能

取引先の規模、信用度、取引関係の親密度、代金回収サイトにより算出するNeuroWatcher独自の「月商法」

The screenshot shows a web application interface for credit limit calculation. It features a sidebar with navigation links and a main content area. The main area displays a form for inputting transaction partner information and a section for calculation results. A red box highlights the '与信限度額算出' (Credit Limit Calculation) section, which shows a single calculation method (Monthly Sales Method) and its result.

After画面イメージ

2025年7月～

与信限度額Ⅱ算出（6種類の与信限度額の算出）機能を追加

The screenshot shows the updated web application interface. It now includes a new section for '与信限度額Ⅱ算出' (Credit Limit Calculation II), which offers six different calculation methods. A red box highlights this new section, and a text overlay states that the current functionality remains usable. The new section includes a table with columns for calculation methods, credit limits, and payment reflection amounts.

算出日	与信限度額(千円)	格付反映後(千円)
2025/07/01	100000	100000
2025/07/02	100000	100000
2025/07/03	100000	100000
2025/07/04	100000	100000
2025/07/05	100000	100000
2025/07/06	100000	100000
2025/07/07	100000	100000
2025/07/08	100000	100000
2025/07/09	100000	100000
2025/07/10	100000	100000
2025/07/11	100000	100000
2025/07/12	100000	100000
2025/07/13	100000	100000
2025/07/14	100000	100000
2025/07/15	100000	100000
2025/07/16	100000	100000
2025/07/17	100000	100000
2025/07/18	100000	100000
2025/07/19	100000	100000
2025/07/20	100000	100000
2025/07/21	100000	100000
2025/07/22	100000	100000
2025/07/23	100000	100000
2025/07/24	100000	100000
2025/07/25	100000	100000
2025/07/26	100000	100000
2025/07/27	100000	100000
2025/07/28	100000	100000
2025/07/29	100000	100000
2025/07/30	100000	100000
2025/07/31	100000	100000

自社財務を基準にした3種類
+
取引先財務を基準にした3種類
の計算方式が新たに追加

6種類の算出機能から最も適した方法を選択し、ご利用いただけます。

項目		科目または計算式		概要
自社財務基準	(1) 財務上限基準法	自己資本	純資産合計	自社の財務体力で耐えうる範囲で与信を設定する考え方です。 純資産の一定割合（一般的には10%程度）を許容範囲とします。
	(2) 売上債権基準法	売上債権	受取手形 + 売掛金・工事未収入金 + 割引手形 + 裏書譲渡手形	自社の売上債権（売掛金、受取手形など）を基準に、どこまで焦げ付いても許容できるか、という視点で設定します。
	(3) 決裁限度法	自社の決裁 上限金額	社内の決裁権限に応じたの限度額	社内の決裁権限に応じて与信限度額に上限を設ける方法です。 他の基準に比べて限度設定の柔軟性にはやや欠けますが、社内方針として、権限に応じた取引限度額をどこまで許容するか、という統制が取り易い考え方です。
取引先財務基準	(4) 仕入債務基準法	仕入債務	支払手形 + 買掛金・工事未払金 + 裏書譲渡手形	取引先の貸借対照表における仕入債務（買掛金、支払手形など）から取引先の仕入能力を推定し、その一定割合まで自社の債権を抑える方法です。 取引先が破綻した際、被害を丸抱えするリスクは減る一方、仕入債務が大きくなる取引先に対しては、与信限度額が大きく設定されてしまう可能性があります。
	(5) 月商一割法	平均月商	売上高÷月数	取引先の平均月商の一定割合の与信限度額に留めておけば、いざという時に比較的容易に商品が引き上げやすいという考えに基づきます。
	(6) 内部留保基準法	自己資本	純資産合計	取引先の純資産の蓄積が大きければ、比較的健全性が高いとみられるため、純資産の大きさに対する一定割合の与信を許容する方法です。



【既存の機能】

取引先の規模、信用度、取引関係の
親密度、代金回収サイトにより算出するNeuroWatcher独自の「月商法」

スコアリング判定後の与信管理ファイルの画面より、必要な計算方式の与信限度額を選んで算出し、与信管理ファイルに反映・保存できます。

【与信管理ファイル閲覧画面】

与信管理ファイル

グループ名: [プルダウン]
取引先コード: [プルダウン]
決算年度: [プルダウン]
決算月: [プルダウン]

検索条件: [検索ボタン]

検索結果:

ファイル名	作成日時	更新日時	更新者
2024/03/25	2024/03/25	2024/03/25	2024/03/25

更新ボタンを押下し、算出した限度額を与信管理ファイルへ反映・保存

【既存の与信限度額算出画面】

管理上限度額

現金比率: [入力欄] %
手形比率: [入力欄] %
取引先月商: [1,411,438] 千円
取引先月額: [2,500] 千円

与信限度額: [入力欄] 千円

希望限度額

月間売上予定額: [入力欄] 千円
売上予定額: [入力欄] 千円
与信限度額: [入力欄] 千円

与信限度額

担保金額: [入力欄] 千円
特別加算額: [入力欄] 千円
与信限度額: [0] 千円

売上可算・信用リスク評価額

月平均取引可能額: [入力欄] 千円
年間売上可算額: [入力欄] 千円
信用リスク評価額: [入力欄] 千円

更新ボタンを押下し、算出した限度額を与信管理ファイルへ反映・保存

【新しい与信限度額Ⅱ算出画面】

設定項目

一定割合: [10] %
月商一割: [10] %
格付安全係数: [12.50]
修正割合: [] %
修正安全係数: [] %

自社財務情報

対象決算年月(YYYYMM): []
自己資本: [] 千円
売上債権: [] 千円
決裁上限金額: [] 千円

取引先財務情報

対象決算年月(YYYYMM): [2024/03]
仕入債務: [590,812] 千円
平均月商: [1,411,438] 千円
自己資本: [12,838,384] 千円

※TSR財務情報を表示しています。変更する場合は変更内容を入力してください。

与信限度額Ⅱ

分類	算出式	与信限度額	格付反映後
自社財務基準	(1) 財務上限基準法(千円) (2) 売上債権基準法(千円) (3) 決裁限度法(千円)		
取引先財務基準	(4) 仕入債務基準法(千円) (5) 月商一割法(千円) (6) 内部留保基準法(千円)		

更新ボタンを押下し、算出した限度額を与信管理ファイルへ反映・保存



Assuring Growth and Success with IT
— ITで、確かな成長と成功を —

